

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	2-5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る
施策	2-5-1 療育体制と相談支援の充実

指標NO	56
------	----

指標名	療育相談所における相談件数	単位	件
-----	---------------	----	---

指標の説明	療育相談所における新規相談件数	担当局(区)	保健福祉局
-------	-----------------	--------	-------

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	520	560	620	◎
現状値	472	619	—	—	

目標設定の考え方	障害の早期発見及び早期療育に向け、今後の事業展開を勘案し、件数を着実に増加させていくこととして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
 平成26年度実績において、平成33年度目標値をほぼ達成している。その原因として、医療の発達や高齢出産の増加によって障害が疑われる子どもが増加していることが考えられる。また、市内に障害児の相談や診断、検査等を専門的におこなう医療機関が療育相談所しかないため、療育相談所の利用件数は増加している。

【課題及び今後の取組みの方向性】
 利用件数が増加していることから、療育相談所の利用について、待機期間が生じており、今後はこの待機期間を短縮することが必要である。そのため、業務内容の精査や既存の人員配置の見直しを行うほか、必要により、相談や診断、検査等を行う職員(医師含む)の増員や相談室等のスペースの確保等に取り組んでいく。

指標を構成する事業 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	療育センター管理運営	療育センターの運営	1か所運営	1か所運営	1か所運営	1か所運営	達成	557,475
2	発達障害者支援センター運営	発達障害者支援センター運営	1か所運営	1か所運営	1か所運営	1か所運営	達成	93,369

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	2-5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る
施策	2-5-1 療育体制と相談支援の充実

指標NO	57
------	----

指標名	障害者相談支援事業における相談件数	単位	件
-----	-------------------	----	---

指標の説明	障害者相談支援事業における延相談件数	担当局(区)	保健福祉局
-------	--------------------	--------	-------

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	43,000	54,000	68,700	×
現状値	31,900	23,799	—	—	

目標設定の考え方	障害のある人が地域で安心して暮らせる相談支援体制を充実していくこととして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
 「サービス等利用計画(障害福祉サービスを利用するために必要な計画)」の作成対象者を拡大したことにより、障害者相談支援事業を実施している事業所(7か所)を含めた相談窓口が分散化し、障害者相談支援事業を実施している事業所における相談件数は減少した。なお、計画相談支援事業所は、平成25年4月に49事業所、平成26年4月に59事業所、平成27年4月に73事業所と年々増加している。
 (参考)計画相談事業所を利用した障害者数 約14,500人(延人数)

【課題及び今後の取組みの方向性】
 相談件数及び計画相談支援事業所設置の今後の状況により、必要な時は類似事業との整理・統合を検討する。

指標を構成する事業

計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	地域活動支援センターの整備	整備(I型)	4か所	2か所増	6か所	6か所	達成	18,276

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	障害者相談支援	相談支援事業所数	7か所	7か所	7か所	7か所	達成	233,199

政策評価シート【個票：客観指標】

施策の柱	2-5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る
施策	2-5-2 地域生活支援の充実(障害のある人)

指標NO	58
------	----

指標名	地域で生活するようになった障害のある人の数	単位	人
-----	-----------------------	----	---

指標の説明	市内障害者支援施設等の入所者のうち、施設を退所し、地域での生活を始めた人の平成18年度からの累計	担当局(区)	保健福祉局
-------	--	--------	-------

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	436	470	510	○
現状値	275	394	—	—	

目標設定の考え方	今後も、各施策の展開により、障害のある人の地域生活への移行を着実に促進することとし、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】
 施設入所者の地域生活への移行者について、国の基本方針における平成26年度末の目標値(H17.10.1現在の入所者数の3割以上(240人))は達成しているものの、独自の上乗せを行って定めた目標値(436人)には達しなかった。
 地域生活の主な受け皿となるグループホームの整備は計画通りに目標値を達成しており、第1期(平成18~20年度)・第2期(平成21~23年度)障害福祉計画に基づく地域生活への移行に取り組んだ結果、施設入所者における施設入所が真に必要と判断される者の割合が大きくなってきたことが原因と考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】
 障害者が地域で自立した生活を営むための居住の場としてグループホームの整備を引き続き進めていくとともに、地域移行に向けた相談機能の一層の充実や関係機関との連携の強化を図り、安心して暮らしていくための仕組みを強化する。

指標を構成する事業 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	地域活動支援センターの整備	整備(I型)	4か所	2か所増	6か所	6か所	達成	18,276
2	障害者グループホーム・ケアホームの整備	障害者グループホーム・ケアホーム	52施設	18施設増	70施設	70施設	達成	130,833
3	障害者施設の耐震改修	まあるい広場 耐震改修	実施設計	工事	完了	完了	達成	4,422
4	障害福祉サービス事業所の整備	障害福祉サービス事業所の整備	—	改修	完了	改修工事	未達成	13,415

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	グループホーム等運営費補助	補助金の交付	19事業所	18事業所増	37事業所	5事業所	未達成	8,556
2	グループホーム等家賃助成	助成対象者数	2,199人	175人増	2,374人	3,118人	達成	84,047
3	地域活動支援センター運営補助	補助金の交付	13施設	9施設増	22施設	17施設	未達成	110,502
4	障害福祉サービス(訪問系サービス)	サービス利用者数(見込み)	806人/月	557人/月増	1,363人/月	1,199人/月	未達成	4,281,158
5	障害福祉サービス(グループホーム・ケアホーム)	サービス利用者数(見込み)	255人/月	115人/月増	370人/月	391人/月	達成	1,733,622

政策評価シート【個票：生活実感・行動指標】

施策の柱	2-5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る
施策	2-5-3 就労支援と社会参加の促進

指標NO	59
------	----

指標名	障害に対する理解が進み、障害のある人が地域で暮らしやすくなっている	単位	%
-----	-----------------------------------	----	---

担当局(区)	保健福祉局
--------	-------

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	20.0	25.0	30.0	△
現状値	16.1	17.5	-	-	

目標設定の考え方	障害のある人の就労支援などにより自立した生活を促進するとともに、障害のある人の社会参加の促進などにより、障害に対する理解を進めることとして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】	<p>障害者への理解を促進する事業として、障害者福祉大会の開催、心の輪を広げる体験作文等の公募、心のふれあいフェスティバルの開催等、普及啓発事業に毎年取り組み、心のバリアフリーの促進に効果があったと考えられる。</p> <p>また、「障害者就労支援講座パソコン・ビジネスマナー講座」は、受講生の進路が必ずしもパソコンを日常的に使用する業務ではなく軽作業が多いこと等から、平成25年度をもって廃止したが、「障害者職場実習事業」や障害者に対する他の就労支援事業である「障害者職業能力開発プロモート事業」等を平成26年度から開始した結果、新たに就労した障害者の数は、本実施計画指標No.60(新たに就労した障害のある人の数)のH27中間評価目標値を上回ることができ(目標値410人、H26末現状値439人)、障害のある方の自立した生活の促進に効果があったと考えられる。</p> <p>これらの取り組みなどにより、指標が向上したと考えられるが、市民が「障害のある人が地域で住みやすくなった」と大きく実感するまでには至らなかった。</p>
【課題及び今後の取り組みの方向性】	<p>今後も障害者への理解促進のための普及啓発事業にも引き続き取り組んでいくとともに、障害者の就労支援事業を充実させ、障害者の自立した生活を促進していく。同時に、平成28年4月に障害者差別解消法が施行されることから、法の趣旨に基づいた取り組みの必要性を周知していく。</p>

指標を構成する事業 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	障害者の就労支援と社会参加の促進	障害者就労支援講座 パソコン・ビジネスマナー講座	定員 20名	定員 20名増	定員 40名	中止	中止	0

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	障害者福祉大会の開催	開催	1回	1回/年	1回	1回	達成	2,381
2	心の輪を広げる体験作文等の募集	「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」の募集	1回	1回/年	1回	1回	達成	275
3	心のふれあいフェスティバルの開催	心のふれあいフェスティバルの開催	1回	1回/年	1回	1回	達成	450
4	明るいくらし促進事業	各種イベントの開催	開催	開催	開催	開催	達成	3,245

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	2-5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る
施策	2-5-3 就労支援と社会参加の促進

指標NO	60
------	----

指標名	新たに就労した障害のある人の数	単位	人
-----	-----------------	----	---

指標の説明	障害のある人が年度内に一般就労を始めた件数(ハローワーク千葉及びハローワーク千葉南管内の企業における件数を人口比で按分)	担当局(区)	保健福祉局
-------	--	--------	-------

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	410	500	615	◎
現状値	315	439	-	-	

目標設定の考え方	今後の事業展開を踏まえ、障害のある人の就労件数を着実に増加させることとして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】
 本市の障害者への就労支援事業を通じて、就労意向のある障害者に就労・生活面への一体的な就労支援を行うとともに、企業等に障害者雇用に関する啓発や相談対応を行い、ハローワーク等の就労支援機関に結びつける一方、平成25年4月1日より障害者の法定雇用率が1.8%から2.0%に引き上げられたことから、障害者の就労者数の増加につながったものと考えられる。
 なお、「指標を構成する事業」の「主な取組項目」として、「障害者就労支援講座 パソコン・ビジネスマナー講座」を設定していたが、パソコン・ビジネスマナー講座については、受講後の進路先がパソコン技能を活かした職場ではなく軽作業が多いことや、平成25年4月に開校した千葉市立高等特別支援学校のカリキュラムの中で、本事業と類似した訓練が行われているため、本講座の必要性が薄れ、平成25年度末で事業廃止とした。しかし障害者の就労支援は、障害者が地域において自立した生活を営む共生社会をつくるためには必要不可欠なものであるため、平成26年度より新たに、一般就労を希望する障害者に対して、就職前に企業等で一定期間の実習を行う「障害者職場実習事業」を開始した。

【課題及び今後の取組みの方向性】
 障害者職業能力開発プロモート事業や障害者職場実習事業をはじめとした本市の障害者就労支援事業をより充実させ、障害者の就労者数のさらなる増加を図る。

指標を構成する事業 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	障害者の就労支援と社会参加の促進	障害者就労支援講座 パソコン・ビジネスマナー講座	定員 20名	定員 20名増	定員 40名	中止	中止	0

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費 (千円)
1	障害者職業能力開発プロモート	障害者職業能力開発プロモート	実施	実施	実施	実施	達成	12,938
2	千葉障害者就業支援キャリアセンターへの運営参画	千葉障害者就業支援キャリアセンターへの運営参画	実施	実施	実施	実施	達成	21,572